



# 波 濤

第 1 6 号  
 学 会 同 窓 会  
 大 同 窓 会  
 送 送 大 同 窓 会  
 放 神 奈 川 学 習 セ ン タ ー  
 行 放 神 奈 川 学 習 セ ン タ ー  
 編 集 者 藤 井 輝  
 責 任 者 藤 井 輝  
 発 行 日 平 成 1 0 年 9 月 1 日

## 第九回通常総会報告

第九回神奈川学習センター支部通常総会は、平成十年五月二十四日(日)午後一時から大岡地区センター中会議室にて開催された。田澤事務局長の司会により会長挨拶、議長団選出の後、次の議案が提出され審議された。

- 一、平成九年度活動報告
- 二、平成九年度収支・決算報告及び監査報告
- 三、平成九年度フォスター・プラン活動報告
- 四、平成九年度フォスター・プラン収支決算報告及び監査報告
- 五、放送大学神奈川学習センター同窓会会則制定(案)の提案
- 六、平成十年活動計画(案)

## 会のさらなる

## 発展に向けて

神奈川学習センター同窓会

会長 藤井 輝

一、同窓会改編について  
 放送大学同窓会は、ここ数年来の懸案であった改編に伴い、これまでの本部・支部制が廃止され、五月二十四日の第九回通常総会で、正式に「神奈川学習センター同窓会」として独立し、新しくスタート致しました。また、今年役員改選の年でもあり、私はこの度、会長に選任されるその重責に身の引き締まる思いが致します。新役員の構成は別表に示しました。神奈川学習センター所属の同窓会会員数は約七〇〇名で、現在九箇所の同窓会中、東京第二、東京第一、千葉について四番目の規模になります。

七、平成十年年度収支・予算(案)  
 八、平成十年度フォスター・プラン活動計画(案)  
 九、平成十年度フォスター・プラン収支・予算(案)  
 十、平成十年度役員選任

放送大学同窓会の組織改編が本年四月の本部総会で決定した。これに伴い神奈川学習センター同窓会会則が提案され活発に討議され一部修正のうえ承認され、全ての議案は可決された。

尚、同窓会会則は全会員に送付します。  
 【総会成立の確認】  
 会員数六四五名(平成十年三月三十一日現在)出席者数二九名、委任状数二七一名、合計三〇〇名支部会則十二条により総会は成立した。

同窓会の改編に関しては、会員全員に送付された本部会報「公孫樹」第十六号(最終版)及び、本部理事会編「放送大学同窓会員の皆様へ」(同窓会組織改編の構想と移行手順の説明)に記載されていましたが、皆さん目を通されたでしょうか?そして、ご理解頂けたでしょうか?本部は四月十九日の総会を最後に解散し、会の運営は独立したそれぞれの地区同窓会に委譲されました。ただし、各同窓会間に連絡及び放送大学との連絡機関として、「放送大学同窓会連合会」が発足致しました。そこで、この改編に伴い浮上した問題で、終身会員制の今後の取り扱いが各同窓会の課題になりま

す。これは本部の運営費の枯渇問題に端を発し、本部の解散と同時に終身会費残金四、〇七二円/人が各同窓会の会員数に応じて還付され、この終身会員制問題を含めて委譲されたわけです。

神奈川同窓会は、平成七年から一、〇〇〇円/人の年会費制を導入して運営費

## 平成十年活動計画

- 一、会員相互の親睦
  - ① 定例活動  
会報「波濤」の発行 (年二回 九月、一月)
  - ② 親睦会 五月二十四日(日)
  - ③ 見学会 六月七日(日)「生命の星・地球博物館」館長濱田先生の講演
  - ④ 鎌倉散策(第四回) 十月四日(日)
  - ⑤ 見学会 「江戸東京博物館」 一月三十一日(日)
  - ⑥ 卒業祝賀会への参画
- 二、社会への貢献
  - ① フォスター・プランへの協力
  - ② 学習活動
- 三、講演会(五月二十四日)
  - ① 講演「楽しみながら英語を学ぶ方法」  
講師 放送大学助教授 藤井洋子氏
- 四、その他
  - ① 魅力ある同窓会の構築
  - ② 学習センター職員・学生との交流促進
  - ③ 放送大学連合会への参画
  - ④ 新規会員の募集活動

## 平成十年度フォスター・プラン活動計画

- 一、フォスター・チャイルド四名への援助継続と交流
  - ルーシーちゃん(九歳 ケニア)
  - パロバラちゃん(十三歳 バングラディシュ)
  - ソムチャイ君(十二歳 タイ)
  - エリザンドロ君(十八歳 グアテマラ)
- 二、広報活動の促進(参考資料のパネル展示)
- 三、講演会の開催
- 四、エルニート緊急対策に特別寄付
- 五、現地訪問(自己負担)への情報収集

# 会 計 報 告

平成9年度収支決算報告  
(単位：円)

科 目	決 算 額
1. 収入の部	
前年度繰越金	903,951
本部給付金	210,000
支部年会費	413,000
寄付金	23,440
利息	1,609
雑収入	0
収入合計	1,552,000
2. 支出の部	
活動費	84,975
会議費	45,935
活動運営費	39,040
事務局運営費	390,001
会議費	8,205
交通費	107,020
通信費	178,820
振替手数料	25,830
消耗品費	37,595
交際費	26,247
外注費	6,284
備品費	0
雑費	0
予備費	0
次年度繰越金	1,077,024
支出合計	1,552,000

フォスター・プラン  
平成9年度収支決算報告  
(単位：円)

科 目	決 算 額
1. 前年度より繰越	615,027
2. 収入の部	
寄付	302,500
支部会計援助費	10,000
預金利子	343
小 計	312,843
合 計	927,870
3. 支出の部	
援助金	240,000
活動費	12,100
事務費	9,004
通信費	4,450
小 計	265,554
4. 次年度へ繰越	662,316
合 計	927,870

平成10年度収支予算  
(単位：円)

科 目	予 算 額
1. 収入の部	
前年度繰越金	1,077,024
本部給付金	150,000
入会金	100,000
本部配分金	3,232,630
支部年会金	730,000
寄付金	20,000
利息	1,500
収入合計	5,311,154
2. 支出の部	
活動費	200,000
会議費	100,000
活動運営費	100,000
事務局運営費	932,000
連合会会費	73,000
会議費	30,000
交通費	200,000
通信費	218,000
振替手数料	51,000
消耗品費	50,000
交際費	40,000
備品費	250,000
雑費	20,000
予備費	100,000
会員名簿引当金	100,000
終身会費基金	3,232,630
次年度繰越金	746,524
支出合計	5,311,154

フォスター・プラン  
平成10年度収支予算  
(単位：円)

科 目	予 算 額
1. 前年度より繰越	662,316
2. 収入の部	
寄付	300,000
助成金	10,000
預金利子	300
小 計	310,300
合 計	972,616
3. 支出の部	
援助金	240,000
特別寄付	100,000
活動費	10,000
事務費	10,000
通信費	5,000
小 計	365,000
4. 次年度へ繰越	607,616
合 計	972,616

枯渇問題はクリアしてあります。但し、年会費未納の方に対する取り扱いに関しては、上記の終身会員制の問題を含めて検討しなければなりません(終身会費残金四、〇七二円/人では会報の送付も含めて、終身サービスが出来なくなりす)。このため本部からの還付金は「終身会費基金」という形で棚上げし、役員会で検討して、結論が出てから予算化することになりました(第九回総会で承認済み)。この件に関しては次期総会で審議して頂く予定です。よろしくお願い致します。

二、運営(活動)方針について  
会の目的は他地区同窓会を含む  
①会員相互の親睦  
②放送大学及び放送大学生との交流  
③社会への貢献  
いろいろな行事を企画し、会員の皆様には参加を呼びかけて来ましたが、また社会への貢献はフォスター・プランへの参加で、多くの協力を得て順調に進んでおります。これからは、会のさらなる発展に向けて企画部を強化し、多くの会員の参加を促して、誰からも親しまれ頼られる会にし

ていきたいと思っております。その企画の一部として、趣味を活かした同好会的集団活動(サークル)を提起し、バックアップして行こうといった計画も有ります。放送大学は学生・OBを問わず、いろいろな方面で活躍されている方が沢山いらっしゃると思います。そのいろいろなジャンルの人達との出会いを大切に、活動の環を広げて行きたいと思っております。さらには、連合会を通じた広域ネットワークの活用も楽しみです。皆様の参加をお待ちしています。

# 講演会

## 【楽しみながら

## 英語を学ぶ方法】

### 講師

### 放送大学助教授

### 藤井洋子氏



## 講演会を

### 拝聴して

森木 洋子

五月に催された、藤井洋子助教授の講演会について、題名は『楽しみながら英語を学ぶ方法』、総会が延びたにも拘わらず大勢の方がお待ち下さり、先生の人気の高さや英語への関心の高さを感じたものでした。

先生は米国の大学院で言語学など学ばれ、あまり人生経験の無いまま放送大学で教えることになり、学習方法の相談を受けられても、何か人生相談をやっている様に感じ、これではいけない、もっと英語に関して具体的、対応するように心掛けたり、試行錯誤の十年でしたとお話してました。先ず、それには皆様にも一緒に加わって戴き質問方式で参りたいとの声に一瞬驚きの感もありました。それは英語での質問ではなく、みんながどんな目的意識をもって聞のかを聞きながら、上手に学ぶこととの道程を教えて下さることでした。母国語をマスターするのにも、一、二才でも、意味が伝わるほどにはならず、引切りなしに耳から浴びせられても、五、六才でやっと通じる程度であるから、やはり相当の努力をしないと成就しないものであるとお話してました。

『楽しみながら・・・』と云うのは楽しみの中には、娯楽性のように単純に面白いと云う外に充実感、達成感を満たすということがあります、やはり私達が英語の勉強で楽しいと云うことは成就感、達成感を味わう事が大切なことで、自分が達成できないのは年齢のせいであると思っている人は？・・・などの質問をされ、その裏には、決してそれが大きな要因ではないのですよとの先生のお気持ちを感じました。

英語に関しての卒論を書かれた方の中から、方法を解析されたものを取り上げて下さり、視覚型、聴覚型、折衷型、双極型などに分類されており、成功された方のマスターの仕方など色々お話しして戴き、その人が成功したからと云って自分に当てはまるとは限らず、学習の方法は本当に多様であって自分に合った学習方法を見出し、それを継続し熱中することが最も重要であり、その上、その文化や社会背景を知り、コミュニケーションの質を向上させることが大切であるとのことでした。

方法には色々あって

「規則をマスターすること」

「好きなものの要素を入れること」

(映画、音楽など自分の好きなものに結び付けること)なども大切な要素であるとのことでした。

中学で一五〇〇語、高校で五〇〇〇語、ここまでマスター出来ると二〇〇〇語にも広がって行き、新聞を読む楽しみにもつながるとのことでした。

《藤井助教授を囲んで》

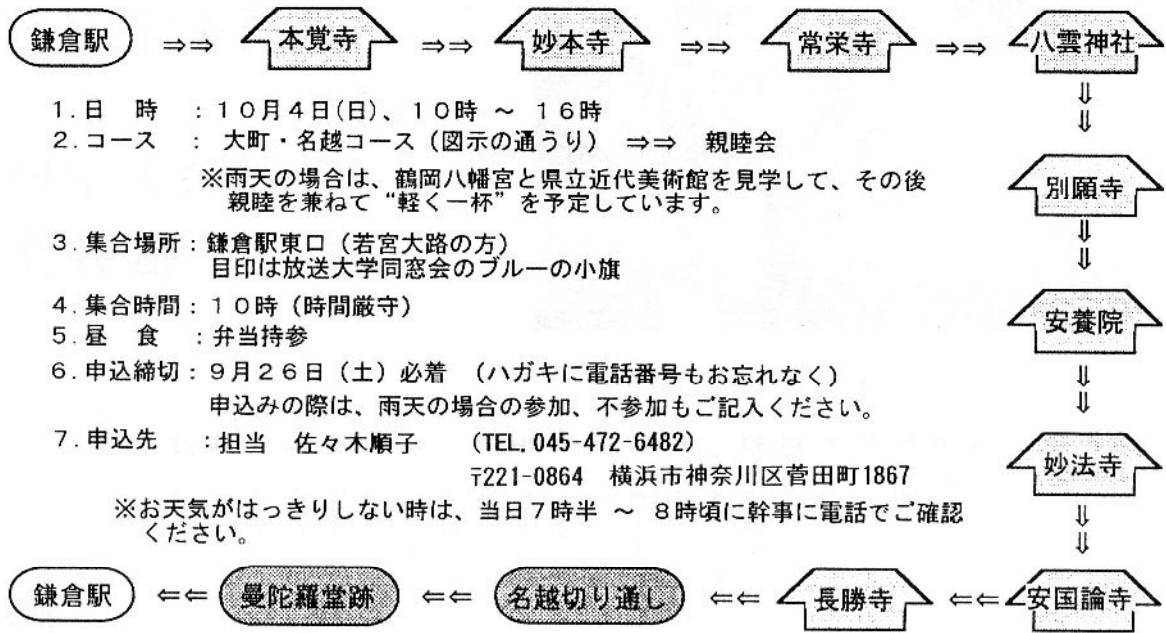


総括的には、

- 一. 明るい動機づけ。
  - 二. 学習方法があっているか。
  - 三. 手ごたえがあるか(継続出来るか)
  - 四. 楽天的(恥や失敗を恐れない)
  - 五. 外国語を想像的に自己変革のパートナーとする。
- 等々本身に身につまされる内容のあるお話してました。



# 鎌倉散策シリーズ (第4回)



1. 日時 : 10月4日(日)、10時 ~ 16時
2. コース : 大町・名越コース (図示の通り) ⇒⇒ 親睦会  
※雨天の場合は、鶴岡八幡宮と県立近代美術館を見学して、その後親睦を兼ねて“軽く一杯”を予定しています。
3. 集合場所 : 鎌倉駅東口 (若宮大路の方)  
目印は放送大学同窓会のブルーの小旗
4. 集合時間 : 10時 (時間厳守)
5. 昼食 : 弁当持参
6. 申込締切 : 9月26日(土) 必着 (ハガキに電話番号もお忘れなく)  
申込みの際は、雨天の場合の参加、不参加もご記入ください。
7. 申込先 : 担当 佐々木順子 (TEL. 045-472-6482)  
〒221-0864 横浜市神奈川区菅田町1867

※お天気ははっきりしない時は、当日7時半 ~ 8時頃に幹事に電話でご確認ください。

“一人より二人  
二人より三人”  
仲間と楽しい集いを!!

「同じ学習センターを卒業したのに年に数回の見学だけに終わってしまうのは淋しい」という声も聞こえてきました。

そこでこの度、趣味嗜好を共にする仲間と各種のサークル作って楽しんだらということになりました。

指導者の問題、どのようなサークルを作っていくのかなど難問はありますが、少しづつでも仲間の輪を広げて行けたらと思っています。

その為に **おねがい**

- ①どんな分野でも構いません。多少なりとも経験があるので、仲間作りをしてもよいと思われる方。
  - ②現在どこかで教えておられる方。
  - ③このようなサークル (例えば囲碁・絵画写真・陶芸・手芸・俳句・短歌・グルメの会 etc...) を作って欲しいなどのご希望がある方。
- 是非!是非!担当者までご連絡下さい。

《連絡先》 森西節子  
〒241-0814 横浜市旭区中沢3-17-21  
☎(045)362-5121 FAX(045)362-8070



入館料 六〇〇円  
博物館を見学した後は「ちゃんこ巴漕」にて昼食。費用は四千円前後になります。

集合 午前十一時  
JR総武線两国駅改札口  
目印はブルーの小旗

日時 平成十一年  
一月三十一日(日)

見学場所 江戸東京博物館  
墨田区横綱一四一

※鎌倉散策と同じ  
締切日ですが、参加者には一月に入ってから再度ご連絡しますので、電話番号をお忘れなく。

昼食後は、希望者のみ浅草にて仲見世散歩を楽しむ予定です。

申込締切 九月二十六日  
申込先 担当 出口仁美  
〒221-0864 鎌倉市材木座  
☎FAX(0467) 一四一〇一六〇

江戸めぐり

の後はちゃんこを囲んで





## 神奈川県立

### 《生命の星・

### 地球博物館》

#### 見学

小山佐枝子

今年度最初の同総会主催の見学会が  
 六月七日(日)に行われた。  
 今回は表題にあるように箱根人生田に  
 ある県立「生命の星・地球博物館」に  
 行って来ました。

館長の濱田隆士先生は我が校の地球  
 環境変遷史専攻の教授でいらっしゃる  
 ます。同窓生の中にもお世話になった  
 方がおられると思いますが、とてもや  
 さしい先生で(授業は厳しく、試験は  
 難しいかな?)この博物館の説明を小  
 一時間にわたって話してくださいまし  
 た。

この博物館の特徴は、  
 ①人間の五感に訴える展示をしている  
 こと。

②子供や親たちが楽しめるように展示  
 を工夫していること。

③健常者だけでなく視覚障害者にも理  
 解できる展示になっていること。特  
 に触ってもらえること、音を出して  
 聞いてもらえること。

④堅苦しい学名は省き、芸術的な展示  
 で従来の展示概念を覆した展示方法  
 をとっていること等で、実際展示を  
 見て回って見ると、先生が話してくだ  
 さったことが随所に現れており、とて  
 も楽しく勉強になる時間を過ごせまし  
 た。

見学会の後、二時から「水は誰のも  
 の」と題する生態系シンポジウムが  
 開かれ、水と自然を保護することが人  
 間の将来を救うことになり、そして、  
 水は誰のものかという、それは大き  
 な声で「水は私のもの」と言えるよう  
 みんなで努力して行かなければならな  
 いなどの話し合いが行われました。充  
 実した一日を過ごし、横浜には夕方に  
 戻りました。  
 次の同総会の企画してもらえ見学会  
 に期待しています。

「生命の星・地球博物館」の所在地

小田原市入生田四九九番地

☎〇四六五―二二―一五二五

## 《第二回》

### シベリアに

### 黒い太陽を

#### 追って

田澤誠一

一九九七年モンゴル・シベリアの日  
 食を追って、三月八日、ハバロフスク  
 からティンダに着いたのは、昼近かつ  
 た。マイナス二十二度。なかなかのも  
 のであった。空を見上げるとシベリア  
 霧、空が晴れていないのである。《ガ  
 イン》この神様は知らないが、これ  
 は参った状態。後は、自分の運に任せ  
 るかと思った。この町は平均年齢が若  
 く、シベリア開拓の時、色々なところ  
 から鉄道を造るために移住して来てで  
 きたらしい。今日はお祭りで、ミス  
 ティンダを選び騒ぐとも言っていた。  
 北緯五十五度十六分シベリアでは入り  
 口かもしれないが、最北の町。ユー  
 ノスト・ホテルはこの町に唯一ある外  
 国人向けホテル。ホテルに入ると問題  
 が待っていた。観測地が決まっていな  
 い。第一候補だった屋上は、安全上使  
 うのは不可。昨年屋上でパーティを  
 やったとき屋根が抜けまだ修理してい  
 ないとのこと。第二候補地であったヘ  
 リポート用地も、市外なので許可が下  
 りない。と説明があった。取り敢えず  
 食事を探ってから、現地の人から示さ  
 れた候補地二カ所の下見に有志で行く  
 ことになった。我々の移動は路線バス  
 で、マフラーを車内を通し、排気ガス  
 暖房という臭いバスであった。小一時  
 間もたつてやっとバスが来た。バスが  
 一台なので日本からのもう一つのツア

ーのJTBご一行を迎えに行っていた  
 ようで、このバスに乗り込み視察へ出  
 かけた。  
 最初の候補地は遊園地だが、煙突から  
 の煙がじゃまなので不可。  
 二つ目は、現地の川の上をバスごと凍  
 結した川に入っていく。ここなら何と  
 か成りそうな気がしたが、空港で見れ  
 ないのかと言う声が上がった。添乗員  
 の近藤さんが、空港に打診してくれ  
 た。空港がOKなら設備の有る方が良  
 いので駄目な場合、川の上と決まりひ  
 とまず安心した。川から帰る途中、川  
 岸で火を炊きキャンプをしている人が  
 居た。マイナス二〇度以下、現地の人  
 はたくましいようだ。  
 部屋に戻って木下さんが明日の準備  
 をしていた。流石に防寒対策は、万全  
 のようだ。ビデオカメラもマリン仕様  
 にし、更に、カイロを入れる。カメラ  
 もオリジナルの箱に入れこちらもカイ  
 ロで暖めるようだ。私はと言うと、全  
 然考えていない。ひたすら張り付くホ  
 カロンを機材に付ける。それしか準備  
 していない。多少、いや、思い切り不  
 安。しかし、何故か樂觀であった。機  
 材は防寒対策がいまいちだが、人間の  
 方はと言うと極地仕様。(写真の姿)  
 これが樂觀の原因だったようだ。私も  
 機材を組立テストを繰り返した。その  
 うち流星の柳さんが、三月の朝の気温  
 を入手して来た。マイナス三五度、四  
 〇度、暖かくてもマイナス三〇度。当  
 初マイナス二〇度に耐えられればと思っ  
 ている、マイナス三〇度仕様ならOK  
 と思っていたが、とんでもない事だと  
 実感した。  
 夜、現地のローカル紙、といっても  
 ハバロフクもエリアと言う、新聞記  
 者がインタビューに訪れた。記者は、  
 日食と事件に関係があるか知りたかっ  
 たようだ。しかし、皆、口をそろえ、

「NO!」しいて言えば、メキシコでは、日食の時に祭りがある。又、宗教によっては日食を見てはいけないものもあるとのことである。小乗仏教もまさにその通りで、九五年十月二十四日のタイの日食の時に聞いた事がある。モンゴルの中継ビデオでも皆既日食中は、太陽が復活するようにひたすら祈ると言っていた。ギャラリーが大分増えた中で、インタビュを終わりに三十分遅れの夕食についた。メンバーと食事を探り、ウオッカに花を咲かせた。このビールは何とアルコール濃度一〇度と高い。ビールで一〇度は、初めてであった。



明日の成功を祈り、お祭りをしていたが、早々に切り上げ明日に備えた。朝、食事前にホテルの入り口に行くと、マイナス三五度とのこと。防寒着も着ず外へ出てみる。細胞が凍り付く様に感じ三〇秒後、もう退散。しかし、現地の人はその中、箒で掃除をしていた。朝食を済ませ、荷物を抱え込み、一路空港へ。今回は、ポタ赤を赤道儀仕様にしたものと、シグマ四〇〇mm + テレプラス、シグマ二四mm、デジタルビデオカメラと言う仕方で日食に臨んだ。

いよいよ皆既日食の観測が始まる。どんなことが起きるか？ 次回をお楽しみに！

## 費年会窓同 費年の会窓同 納入のお願い

同窓会では、会員の皆様には年会費1,000円を納入して頂いております。就きましては、同封の郵便振込用紙にて、平成10年度年会費をご送金下さいますようお願い致します。領収証は振込票の控えを以て代えさせて頂きます。また、平成9年度年会費未納の方にも振込用紙を同封させて頂きますので、ご協力をお願い申し上げます。尚、既に納入済みの方はご容赦下さい。

口座番号 00270-1-55585  
〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-1  
放送大学神奈川学習センター  
同窓会事務局  
問合せ先 0463-74-1055(会計 久保)

## 平成10年度役員

### 【同窓会役員】

会長	藤井 輝		
副会長	伊東 廣明	森西 節子	
事務局	田澤 誠一	星 礼子	
	和田 正純	龍造寺 寛	
監事	押山 睦生	越川 敏子	
会計	久保 洋子	飯塚 佳子	
企画	森西 節子	出口 仁美	
	上原 哲雄	佐々木 順子	
総務	伊東 廣明	小山 佐枝子	
	林 カヨ	片野 克巳	

### 【フォスター・プラン実行委員】

藤井 輝	五十嵐 一成	稲葉 恒夫
片山 洋子	仙 幸子	加藤 あいし
松岡 和正	押山 睦生	

### 【役員退任者】

池永 康子	森木 洋子	西川 隆
佐藤 美美子	衛藤 裕美	西浦 久晏

皆様長い間本当にご苦労様でした。

## フォスター・プラン活動報告

フォスター・プラン実行委員 稲葉 恒夫

1. フォスター・プラン活動へのご協力ありがとうございます。本年4月1日より7月15日迄の間に32件・101,000円のご寄付を頂きました。
2. 第9回通常総会で承認された、エルニーニョ緊急対策特別寄付金10万円は、南米・エクアドルの被災者救護金として活用される事になりました。
3. 南米・ガアテマラのフォスターチャイルド・エリササンサンドロ君が18才の援助制限年齢に達し、青年として立派に成長したので援助が終了致しました。今後の活躍を期待致します。
4. エリササンサンドロ君に代わって、新しいチャイルドが誕生致しました。

- 1) 地域・国名 南米・エクアドル
- 2) 姓名・性別 レオニダス エデュアルド ラミレス R 男
- 3) 生年月日 1993年10月1日
- 4) 家族構成 父・母・姉・妹の5人家族

レオニダス君の人生を改善する方向に向けて、各位の協力を宜しくお願い致します。「エクアドル」につきましては、エクアドル産のパナナで名前を承知している程度の国で、あまり馴染みではありませんが、これから多くの事を学んで、理解を深めて行きたいと思っております。

今年には異常気象と思われる現象が世界中で発生している。熱波、干ばつ、森林火災、集中豪雨。日本は幸い被害がなく良かった。と思っていた。ところが北陸、東北地方、関東北部等至る所で集中豪雨による大被害が発生。それに毒入事件等々全く世の中どうなっているのか？ 二十一世紀はどのような世になるのか？ 日本経済は、不況の嵐が吹き荒れ仕事が無い、活気が無い、透明性が無い、無意味な編集者は時間が無い、知恵が無い、前任者の温かい協力を受けながら編集作業。次号を編集する頃には日本経済も上向き、仕事も活気も出て、余裕のある編集を期待しつつ。今後共に宜しくお祈り致します。

編集後記